

気象と 秋は夕暮れのあとに、月を楽しみませんか

秋の深まりを日増しに感じられるようになってきました。先日9月21日は「中秋の名月」で、晴れた所では美しい満月が見えたと思いますが、まだまだ続く秋の夜長に月を楽しんでみるのはいかがでしょうか。月の模様と言えば、日本では昔から「うさぎ」です。影の部分がお餅をつくうさぎに見えますね。世界中で様々な模様に見られていて、日本と同じように影の部分で「ろば」や「かに」に見立てる所や、明るい部分を含めて「女性の横顔」などに見立てている所もあるようです。皆さんはどんな模様が見えますか？月の満ち欠けにも名前がついています。「満月」や「三日月」はどんな月の形か直ぐにイメージ出来ると思いますが、「二日月」や「立待月」と聞いてどんな月の形だと思いますか？「二日月」は「三日月」よりもさらに細い月で、「立待月」は「満月」から少し欠けた形の月です。わずかに違う月の形で名前が異なるのは面白いですね。また、アメリカでは月ごとの満月に名前がついています。図にその一覧を載せていますが、理由がわかるものもあれば、想像がつかないものもあると思います。その季節の気候や生物の様子などから名前がついていることが多くなっています。ちなみに8月の「スター

ンムーン」のスタージャンはチョウザメのことで、チョウザメの漁が最盛期を迎えるため、8月の満月にこの名前が名付けられました。10月の「ハンターズムーン」は、秋の豊富な食糧で肥えた動物たちを狩りする時期の満月として名付けられたようです。日本で月ごとの満月の名前を付けるとしたら、どのような名前が良いか想像するのも面白いかもしれません。話は変わり、今年の11月19日は、月が地球の影に入ること起こる「月食」が見られます。月の一部が隠れる「部分月食」ですが、今回は月のほとんどが隠れるため「皆既月食」に近い形で見ることが出来るそうです。北海道や東北の一部では月食の始まりから終わりまで見る事が出来ますが、それ以外の所では、月の出始めから月が欠けた状態が始まります。18時頃には月がほぼ隠れます。全国的に見るチャンスがありますので、東の空を眺めてみてはいかがでしょうか。この時期は日中と朝晩との気温差が大きく、昼間は暖かくても月が見える頃には空気がヒンヤリということよくあります。外で夜空を眺める際は暖かい服装で風邪を引かないようにお気を付けください。 日本気象協会 牧 良幸



役員	特別顧問	丹羽 晟 (日本空港ビルディング顧問)	本保 芳明 (国連世界観光機関 駐日事務所代表)	大島 慎子 (国立大学法人筑波技術大学監事)
	理事長	寺前秀一 (人流観光研究所長)	副理事長	岡村 進 (元小田急トラベル社長)
／	事務局長	杉 行夫 (理事)		
	理事	須田 寛 (東海旅客鉄道顧問)	分家静男 (元射水市長)	堤 るり (元宮崎放送)
団体会員		山田早苗 (元近畿日本ツアーリスト)	近藤節夫 (日本ベンクラブ会員)	長尾亜夫 (西日本鉄道相談役)
		澤田利彦 (松蔭大学学長補佐)	今井 智康 (ケアアンドケロードス(株)代表取締役)	望月義人 (筑波学院大学学長)
		高橋俊朗 (元(株)小田急レストランシステム取締役社長)	平嶋保馬 (元JTB国会担当、佐藤和弘公認会計事務所相談役)	田阪友隆 (NHKインターナショナル専門委員)
		片山裕司 (花園神社宮司)	香榎博光 (旅行ジャーナリスト)	
	団体会員	アイエスカンパニー	一般財団法人NHKインターナショナル	株式会社えんれいしゃ
	小田急電鉄株式会社	社団法人くらしのリサーチセンター	株式会社グリーンキャブ	
	三普旅行社有限公司	住友電設株式会社	大成建設株式会社	
	大成設備株式会社	大成有業不動産株式会社	株式会社丹青社	
	第一交通産業株式会社	株式会社ダイエーコンサルタンツ	東海旅客鉄道株式会社	
	財団法人東京観光財団	西日本鉄道株式会社	公益社団法人日本観光振興協会中部支部	
	日本空港ビルディング株式会社	専門学校日本ホテルスクール	広島電鉄株式会社	
	福岡国際空港株式会社	北海道空港株式会社	株式会社ホテル小田急	
	ホテルメトロポリタン			

編集後記：10月下旬を迎え、初秋を通り越して晩秋となり、朝方は10℃を下回るほどとなった。それに合わせるかのように、1日当たりのコロナ感染者の数が全国で232人、東京・大阪が29で10を上回る道県が10指に満たない状況となった。ところで、本年5月、「女性たちのポリティクス」―台頭する世界の女性政治家たち―ブレイビティみかこ著(幻冬舎新書)なる本が出版された。この中に、コロナ危機で成功した指導者に女性が多い理由 という項目がある(初出「小説幻冬」2020年7月号)。今回のコロナ禍で話題になったことといえば、女性指導者に率いられている国々がウイルス感染拡大の危機を乗り越え、感染を最小に食い止めることに成功したことだろう。…ニュージーランドのジャシンダ・アーダーン首相…ドイツではアンゲラ・メルケル首相…デンマークのメッテ・フレデリクセン首相…ノルウェーのエルナ・ソルベルグ首相…アイスランドのカトリン・ヤコブスドッティル首相…台湾の蔡英文総統…女性であることとコロナ対策の成功は関係あるのか…ガーディアン紙に掲載されているニューヨーク大学の社会学の教授の分析は一聴に値する。「比較的、政府への支持と信頼があり、女性と男性の硬直した区別をしない政治文化」を持つ国が女性の指導者を選ぶという。…人々が政府を信頼せず、積極的に支持もしない政治文化を持つ国では、…女性の指導者は出にくいということになるのではないだろうか。…2020年1月1日の時点で、選挙で選ばれた国家元首152人のうち、女性はたった10人だった。…なぜ女性首相たちがコロナウイルス感染拡大との戦いに強いのだろうか。…彼女たちは、女性が入りづらい世界に選挙で選ばれて進出し、女性がなかなか出世できない業界でトップまで登りつめた人々だ。つまり、はっきり言って各人がずば抜けて優秀な政治家たちなのである。…一読をお勧めする。(杉)

特定非営利活動法人《NPO》  
**JAPAN NOW**  
 観光情報協会  
 〒東京都港区東麻布 1-27-3  
 〒106-0044  
 電話 03(5989)0902  
 F A X 03(5989)0903  
 E-mail info@japannow.org  
<https://www.japannow.org/>

発行人：寺前 秀一  
 編集長：杉 行夫  
 主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

NPO法人 **JAPAN NOW** 人と都市・観光の地球時代を市民が支える  
 観光情報協会  
 Non-Profit Organization JAPAN NOW Tourism Information Association  
 東京都知事が認証した「都市・環境・観光 NPO」が発信する隔月刊情報誌  
 第139号 発行日 2021年 11月 15日

【世界遺産】「白川郷・五箇山の合掌造り集落」(世界遺産登録年1995年)

写真：秋の白川郷合掌造り集落

- P1 観光にガイドラインを
- P2 鉄道車両は動く文化財⑦ / COLUMN
- P3 スポーツと観光 / セミナーのお知らせ
- P4 NEW SPOT ⑧
- P5 旅は世につれ…
- P6 100歳へのゴルフ / 総理所信演説に登場～
- P7 アメリカごぼれ話 / セミナー報告第172回
- P8 気象と天気 / 編集後記

観光にガイドラインを

JR東海 顧問 須田 寛

コロナ禍が日本に侵入してはや1年半が経過した。当初一過性かと考えられていたコロナ禍も起伏を繰り返しつつも今なお蔓延の危険が続いている。とくにオリンピックの開催と夏休みが重なった7～8月にかけて第5波ともいわれる流行期に入るなど今年になって首都圏等にあつては緊急事態宣言が繰返され「緊急」が「常態」化してしまつてその効果も薄らぐ等の異常事態となっている。

コロナ禍対策として日常行動へのガイドラインが様々な機関から示されてきた。自分の健康保持に直結するマスク着用、手洗い、消毒の励行などはこの1年定着が進み、今ではまちを歩いている人のほぼ全員がマスクの姿になるほどである。ようやく緊急事態は解除されたが、外出の自粛のうち「不急不要の外出」と誤解されその烙印をおされた「観光」も中止を中心に今なお自粛が進み、主要観光地の観光客は激減、国際観光は事実上停止状態に陥っている。

しかし「観光」のように人間の(移動)本能にねざす観光の長期自粛は各方面に様々な深刻な事態を起こしつつある。人間の本能を長期抑圧したためそのはけ口を求めてかえつて危険な行動(夜間の多人数での飲食等)に走る現象も目立つようになった。又「観光」の事実上の中止は観光事業(宿泊提供等)を直撃、その補填措置が遅れがちなことあつて転産業さらには倒産も続出し始めている。このままではコロナが収息して「観光」を復活しようとしても受け皿の観光事業が消滅して受入れがで

い地域が続出するおそれがある。

このように「観光」は一部地域では存廢の危機に直面しているといっても過言ではない。今後はコロナ禍のもとにあつても(緊急宣言等非常事態下は除く)一定限度の「観光」を進めることを考える必要がある。しかしコロナ禍へのガイドラインは日常生活にかかわるものが中心で、コロナ下でも必要な行動に対するものが少ないように思われる。ウィズコロナといわれるように対応の長期化が予想される今、社会の文化、経済の維持発展のために必要な「観光」その他の文化経済行動に対する対コロナの観光(行動)へのガイドラインが公的機関から明示されるべきと思う。

「観光」を例にとれば「密」を避ける行動基準、又マスク着用等外出の際の服装の基準、利用する交通宿泊機関を進めるべきハードソフト両面の対応策、又それらの利用に当つて留意すべきことなどについてのガイドラインの確立が必要だ。医学的知見に基き又蔓延の程度に応じたキメ細かいガイドラインを行動別に体系的に示し、それに従つた万全の対応につき守るべきことを公的機関がわかりやすく説明することが急務であると思う。

切り札とされるワクチン接種も急がれるが諸外国の例をみても接種率100%は実際問題として不可能(体質的な支障もあるので)が予想されるのでなおさらである。また人々の行動(本能)をいつまでも抑圧させることは無理(法的にも人間性からみても)と考えた場合、真のコロナ禍防止の切り札は人々の生活のみならず最低限の社会経済行動を念頭に「行動基準」ともいべき前むきのガイドラインの策定と順守ではないかと思う。

## 鉄道車両は動く「文化財」⑦

### 「地下鉄」の“元祖”「東京地下鉄 1001 号車」

JR 東海 顧問 須田 寛



写真：ホジ 6014

日本最初の本格的な地下鉄道は昭和 2 年 (1927 年) 上野 - 浅草間で開業した「東京地下鉄」です。この鉄道はその後延長と会社合併を経て都心貫通する渋谷迄の路線、現在の「東京メトロ」銀座線となります。その開業時に使用されたのが 1001 号車で名古屋の日本車輿製造 (株) で 10 両が製作されました。

地下鉄ですから地上の鉄道とは異なったいくつかの特長を持っています。第一はトンネルの天井が低いため車両屋根に架線から電気を取り入れるパンタグラフが取り付けられません。そこで、2 本のレールの外側にもう一本送電用のレールを敷き台車に取付けた「集電靴」がそれに触れて集電できるようにしました。

第 2 に安全面から日本の鉄道として初めての「自動列車停止装置」を装備した事です。信号が「赤」の時あやまって列車がその区間に入ろうとしたとき、信号機下のレール横に赤信号時に立ち上がる「打ち子」があります。この打ち子が車両の台車につけた制動管のcock をたたいて制動管の空気を抜き非常ブレーキをかける仕組みです。単純な仕組みですが、動作が確実なため装置取付後 60 年間にわたり使用され信号冒進事故を防ぎました。台車は国産ですがモーター、ブレーキ装置はアメリカのゼネラルエレクトリック社とウエスティングハウス社から輸入したものです。



写真：営団地下鉄で使用された「打ち子式 ATS」。地下鉄博物館の展示物。撮影 Rs1421。

車体が黄色に塗られたことが日本各地の電車が緑、青、茶色の地味な色に塗られていたので当時評判になったようです。暗いイメージの地下鉄を少しでも明るくしようとして考えました。ベルリンの地下鉄に範をとったのだそうです。この車両は 40 年間にわたって地下鉄銀座線と昭和 43 年まで使用され、その後保存車両となりました。現在は、東京メトロの「地下鉄博物館」で展示されています。

日本の地下鉄車両の元祖として又、その後の地下鉄車両の規範となった車両でもあるとして平成 29 年 (2017 年) 国の重要文化財に指定されました。 写真提供：交通新聞社

誰もが気軽にくわえていた。兵隊さんも喫煙した味わいと感触は普通のタバコとほとんど変わらないと言って、毎日喫煙していた。帰国を前に彼らは戦友にもセレを届けてやりたいと、ビルマのお土産品セレをゴッソリ買い込んだ。ところが、帰国早々空港税関でそのセレが、ひと悶着起こすことになってしまった。税関で彼らは迷うことなく「セレ 200 本」を紙巻きタバコの免税品として申告したが、税関係官には、どう見てもセレは葉巻にしか見えなかった。セレを葉巻と判断し、50 本までしか免税品として認めようとしなかった。兵隊さんは、セレはビルマでは普通のタバコだ、それならあんた! 試しに 1 本吸ってみてくれ! と不満をぶつけたが、係官はセレを試しに吸うこともせず、外見だけで葉巻と決めつけ、残りのセレ 150 本分に課税した。

こうして折角戦地の想い出を蘇らせてくれたタバコ「セレ」は、実際の味わいよりも見かけで厳格な関税規則を適用され、過大に課税されてしまったのである。時は経ったが、今以て当時の「門徒物知らず」にやられたとの印象が頭に残っている。

エッセイスト 近藤 節夫



## 「万国博覧会と日本」

元 JTB 取締役 北村 嵩

世界最初の万国博覧会は 1851 年に開催された「ロンドン万国博覧会 (第 1 回)」である。鉄とガラスで造られた「クリスタル・パレス (水昇宮)」は当時の画期的な建造物で、話題を呼び、この万博への大量送客でトマス・クックが旅行会社として確立したのである。その後、1853 年ニューヨーク、1855 年パリ (第 1 回) で開催されたが、日本が直接的に万博に登場したのは、1862 年の第 2 回のロンドン万博からで、公式参加ではなかったが、駐日英国公使オールコックが収集した日本の伝統工芸品が展示され、訪英中の文久遣欧使節団が開会式に出席し注目を集めた。日本が初めて参加したのは、幕末の 1867 年「第 2 回パリ万国博」で幕府及び薩摩藩・佐賀藩が出品し、渋沢栄一らが訪問した。1873 年のウィーン万博から、維新後の政府が公式参加し、明治・大正頃の万博では芸妓が接待役を務め、展示された浮世絵がフランスの画壇に影響を与え、「ジャポニズム」と呼ばれた。

1876 年アメリカ独立 100 周年記念祭典として開催されたフィラデルフィア万博の日本館は、長い鎖国で神秘的な国日本の文化をアメリカ人に広め、多くの知識人に日本への興味をかきたてた。博物学者エドワード・モースもその一人で、翌 1877 年に日本を訪れ、大森貝塚を発見。東京大学でお願い外国人として動物学を教える傍ら、日本各地を旅行し、日本の民具、陶磁器を収集した。帰国後各地で日本文化について講演を行い、フェノロサやビゲロウらの知日派を生み、その後の日米両国の交流の礎を築いた。

1884 年のニューオリンズ万博の日本館を、新聞記者とし

て取材していたラフカディオ・ハーンは、日本館のコミッションナーで農商務省の官僚であった服部一三から、展示品の説明や日本文化について詳しい解説を聞き、日本への関心を高めた。そして 1890 年、1 カ月ほどの旅行のつもりで横浜に上陸したが、それ以降、残りの人生を日本で暮らすことになった。松江で中学の英語教師している時に小泉節子と結婚し、英文で日本文化を紹介し、日本の風俗や伝説信仰などを研究して、小泉八雲の名前で怪談話を発表。アメリカで「知られざる日本の面影」を出版して日本文化の紹介に寄与したのである。

1893 年のシカゴ万博はコロンブスのアメリカ大陸発見 400 周年を記念して開催された。この万博の日本館は宇治平等院鳳凰堂を模した木造の建物で、美しい日本庭園も建設された。シカゴ在住の青年フランク・ロイド・ライトは、壁の代わりに柱を用い内部に柔軟で開放的な空間を造り、周囲の自然環境と交わる日本建築に触発され、その後の彼のスタイルに影響を与えた。アメリカを中心に生涯で 400 余りの作品を残したライトはそのうち 4 作品を日本に残し、その代表的作品が 1923 年、4 年の工事期間を経て完成した二代目帝国ホテルである。その設計モチーフは宇治平等院鳳凰堂だと言われている。新帝国ホテルの披露宴が予定されていた 9 月 1 日に関東大震災東京を襲い、周辺の多くの建物が倒壊したがホテルはほとんど無傷のままであった。

万国博覧会は日本紹介に大きな役割を果たしたのである。



## COLUMN 葉巻? ビルマのタバコ「セレ」

人の性格や人柄と同じように、一般に目に見える物の価値でも、外見だけでは分からないものだということをはひんなことから知ることになった。

今からちょうど半世紀前、戦没者慰霊のため戦友会の人たちと、初めて当時のビルマ (現ミャンマー) を訪れた時のことである。ビルマに一歩足を踏み入れるや、戦時中ビルマの軍隊生活の中で唯一の楽しみとして嗜んでいた、タバコの「セレ」を何とか吸ってみたいとの声が彼らの間から漏れ聞こえてきた。戦後長い年月こそ経過してはいたが、幸いセレは戦時中と変わらず、市場でも道路端でも手軽に買求めることができた。これを見つけて歓喜した兵隊さんは、「懐かしい」と言ってこれを爆買いし、食べるように吸い出した。ビルマでは、毎日のように口から大きな煙をくゆらせ、半世紀ぶりにセレを吸いながら厳しかった戦時中のビルマを懐かしんでいた。

実は、このセレは、原料の葉、サイズ、形、色、煙、匂いなど、どれひとつ取ってみても外見は「葉巻」にしか見えない。だが、ビルマ人はセレを普通のタバコのように

## 観光立国セミナー 第172回 10月8日 会場：MFPR渋谷ビル4階

『勝てる民泊 ウィズコロナの一軒家宿』『アマン伝説』筆者 民泊 YAMAGUCHI HOUSE 経営者

山口 由美



自著『勝てる民泊 ウィズコロナの一軒家宿』にまとめた、箱根の実家での民泊運営の経験から学んだホスピタリティ産業の未来に向けての提言を「リモート・ホスピタリティの可能性」として講演した。

2018 年秋、朽ちる寸前だった離れの一軒家を同年 6 月施行の民泊新法に基づく家主非居住型民泊にすることを決意する。オンラインで予約決済、スマートキーとタブレットでのチェックインと、無人で運営する民泊だ。

対面のおもてなしは存在しない。ホスピタリティとは無縁と思った運営方法だが、LINE で結ばれた運営代行会社とオーナーの私たちが力をあわせ、ゲストのリクエストに応えることで、ホスピタリティが実践できることに気づく。私はそれを「リモート・ホスピタリティ」と名づけた。近年、ラグジュアリーホテルが導

導入している「E コンシェルジュ」とも共通する新しいホスピタリティのかたちだ。ちなみに運営代行業者の担当者は、台湾在住の在宅ワーカーで 3 カ国語を操る。

「リモート・ホスピタリティ」は、遠隔地の労働力を生かすこともできる。

2019 年 7 月の開業時はインバウンドが 7 割を占めたが、2020 年春、コロナ禍により需要が消滅した。だが、非接触の温泉付き一軒家民泊は、コロナ禍にも強かった。BBQ グリルを導入したのをきっかけに予約が V 字回復する。2020 年 7 月には母屋の一部を 2 軒目として開業、今年 6 月には、さらに宿泊スペースを拡張した。

現在は、派遣シェフのサービスも開始し、無人の宿ではあるが、夕食朝食の提供も行っている。



民泊 YAMAGUCHI HOUSE  
<https://hakoneyamaguchihouse.com/>





彩り豊かな自治体発行の感染防止認証ステッカー  
(コピー防止のためそれぞれ一部カットしている)

コロナにめげる日々、緊急事態宣言が解除されても、まだまだ用心用心は続く。ワクチン接種2回目も済んでもまた3回目。ウイルスとの闘いはあと2、3年かかると政府の新型コロナ対策分科会の尾身茂会長は見通す。発生から2年、「不要不急」「外出自粛」「休業要請」「酒類禁止」と声高に叫ばれ、ステイホームの生活が求められた。不要不急と言っても指針など特に無く、ただ街へ出て、あてもなくブラブラする楽しみか。感染拡大の元凶は飲食店、夜の街などと標的にもされ、都庁壁面などを真っ赤なライトで染めて東京アラート(警告)と宣言、県を跨ぐ移動は制限され警告が続いた。どこもかしこも、大手店も横丁の小さな店も、必死に暖簾を守る。昼前から夜まで通しの営業に切り替え、テイクアウトも試み、活路を見出す。みんな四苦八苦、生活や事業の疲弊、破綻は覆い隠せない。

**アベノマスク推奨の傷跡**

これまで感染対策は妥当だったか。緊急事態宣言を発出したままオリンピックやパラリンピックは実施された。対策の「不公平感」が人びとの気の緩みを呼び、感染拡大につながる。一生に一度の修学旅行はNGなのに4年に一度のスポーツ行事なら実施OKだ。競技応援で大きな人出が見込まれるパブリックビューイングを計画し、一般に酒類NGを強く求めながら、競技関係者や役員には酒をふるまう特権層だけの環境づくり、そんな計画がバテて泣く撤回する羽目にもなった。オリンピックやるんなら、みんな街に出かけたって、いいね。ためらいなく3密で行動し、居酒屋や飲食店で老若男女の区別なく大声を出し大笑い。リモート業務、テレワーク推進で一部事業者だけが潤う「コロナ特需」の不公平もある。

感染抑えるマスク対策にも漏れがみえる。小さなアベノマスクを政府が喧伝し続けた傷跡は小さくない。マスクなら何でもいと間違った感覚を国民に与えた。スーパーコンピューター富岳のシミュレーションによるとアベノマスクの類は飛沫の半分も漏れてしまうそうだ。ファッション人気のウレタンマスクはさらに要注意。マスクしない時100%飛沫が出るとして、ウレタンは8割はども飛沫を吸ってしまうという。息をは

く時も飛沫の半分しかシャットアウトしない。マスクした安心感を与えながら飛沫をばらまくから、マスクしないよりまずい。マウスガードはテレビ番組で口元を見せるためかよく見かけるが、飛沫の反射でばらまき9割だ。ウレタンやマウスガードは要注意というPRがほとんど無いのは不思議。不織布マスクは2、3割の漏れで済むのでお勧めだ。

**外出自粛・巣ごもり推奨の傷跡**

人びとは黙々と「自助」の心構えでコロナに立ち向かう。ウォーキングやスクワットなどで体力を保ち、行きつけの店、馴染みの宿を訪ねて気分転換。電車バスはすいた時を選び、手すりやつり革につかまらない。危険なウレタンマスクの人がそばに来たら逃げる。エスカレーターは前の人の吐く息を避け、斜め後ろに立つ。自動改札はPASMOなど浮かしてかざして通る。いかに換気の悪そうな、消毒が雑な店には入らない。帰宅したら玄関でズボンをはき替え、手洗い顔洗い。青空のもと、人がまばらならマスクは要らないし深呼吸もしたい。車も一人で運転ならマスク不要。こまめな消毒のおかげか、居酒屋のトイレがきれいになり、風邪もあまりひかない。

巣ごもりの勧めで肥満や腰痛、糖尿など生活習慣病や子供の目の病気が増えているという。6割の人が半年で体重が増えた「コロナ太り」の調査データもある。ストレスも大きく、コンビニ、スーパーなどで買い物客が理不尽な不満をぶつけるカスハラ(カスタマーハラスメント)なども目に余らしい。文部科学省の調べで2020年度、児童生徒の自殺は400人を超え、小中学生の不登校は19万人以上でいずれも過去最高となった。「極めて憂慮すべき状況」でコロナ禍による環境変化が「大きな影響を与えていることがうかがえる」と分析する。厚生労働省も、この1年、女性と若年層の自殺が増えたと発表した。今後、外出自粛と感染拡大の因果関係やコロナ対策の根拠など十分な科学的検証を進めなければならないし、丁寧な説明も欠かせない。疫病の流行は、きっと再びやってくる。

文・写真 林 莊祐



だいぶ戻ってきたラッシュ  
=2021年10月15日(金)朝7時40分、小田急新宿駅

旅行ジャーナリスト 杏掛 博光

前回及び前々回でコロナ禍の旅行業界において新たにオンラインツアーが生まれたことを述べた。新型コロナウイルスの世界的な規模による感染拡大により移動を前提とする旅行が困難となり、これをビジネスとする旅行業界や観光地は大きな打撃を受けている。今まで経験したことのない、いわば人類にとっての強敵が立ちはだかる中で、現代のIT技術と創意によって観光分野に誕生したのがオンラインツアーである。暗い話題が続く業界において唯一といっていい希望の明かりでもある。

旅行業界を代表するJATA(日本旅行業協会)は6月21日に開催された「ツアーグランプリ2021」において今年新たにデジタル活用部門グランプリを設け、オンラインツアーの優秀



JATAによるツアーグランプリ21で初のオンラインツアーが表彰を受けた(写真提供 JATA)

な旅行商品を表彰した。コロナ禍と向き合う旅行業界を象徴するグランプリである。「旅は世につれ」様々にその姿を変えながらも、魅力は失われぬことを物語っているようだ。

3回目この号ではその世の流れをもう少し後ろに戻し、観光旅行が一般の暮らしの中に広がり始めた1960年代後半、昭和40年代から今日までの旅の姿を追ってみたい。これは筆者が仕事としてたずさわった月刊誌「旅行読売」の特集記事の流れを主に追いつながら、旅の楽しみ方がどのように変わってきたかを考察するもので、そこに時代の動きと合わせた旅の変遷を読み取ることができる。

「旅行読売」は1966年、昭和41年に旅行会社である読売旅行会(当時、現読売旅行)から創刊され、後に旅行読売出版社として独立し、今日に至っている。

創刊の年はビートルズが来日し、石炭産業の衰退に代わって福島県の常磐炭鉱跡に常磐ハワイアンセンター(当時)が開設された。エネルギー産業の変換とレジャー産業の勃興を象徴した出来事と言える。一般の渡航制限年1回が撤廃(外貨



現在と違い、スキー特集も冬季の人気企画であった

持ち出し額は年500ドル)されたのもこの年である。

特集は初夏の北海道、秋の新婚旅行、冬の温泉、スキーと極めてオーソドックスな作り。雑誌の創刊時にありがちな、何が当たるか分からぬから売れ筋をと思われる企画をバラエティー豊かにそろえている。

この流れはしばらく続くが、70年に大阪万博が開催され、旧国鉄の「ディスカバージャパン」のキャンペーンも開始された。戦後の観光史を飾るエポックメイキングなイベントと大型観光キャンペーンである。雑誌の企画も年2回にわたり万博特集を組み、読者ニーズに依っている。

観光にとって画期的な2つの動きは、国民所得の向上と共に多くの人を旅へと誘い、今日に続く「旅はレジャーの王様」の地位はこの時に確立されたと言っていざらう。この年初めて我が国の1人あたりの年間宿泊観光リクリエーション量が1回を超える1.02回(前年0.73)を記録(日経理府)。大阪万博と「ディスカバージャパン」のキャンペーンが多くの人を旅へ誘った結果だろう。

若い女性層を主なターゲットにした雑誌「an・an」も同年に創刊された。今日ほど旅の主役ではなかった若い女性をターゲットに、最新のデザインによるファッションを身に付け、古い歴史町や田園、古刹などを背景にしたグラビアを多用し、新しい旅とファッションの世界を切り開いた。それは「ディスカバージャパン」が多くの国民に、「旅に出よう」という訴えに敏感に反応した企画とも言える。今でも往年の旅行ファンの中で語り草になっているディスカバージャパンの1枚のポスターがある。それはどこか寺院の本堂を思わせる広い畳敷きの中央で若い女性が1人、正座をしている写真である。脇のコピーに「目を閉じて……何を見よう」とある。どこかに行こうでも、何をしようでもない。旅に出れば何かが見えてくる、そんな心をワクワクさせる予感をにじませたポスター。当時大人気を呼んだ1枚である。翌年、同じくファッションと旅など組み合わせた「non・no」が集英社から創刊された。これらの読者が今でも若い女性には無縁であった例えば萩、津和野など古い町並みを歩き、世間の注目を集めた。頭文字を取った「アンノン族」なる言葉も生まれ、これにターゲットを合わせた観光地も全国に出現。新しい旅客層が生まれたのである。…… 140号につづく



昭和40年代は海辺の民宿などの特集もよく企画された